

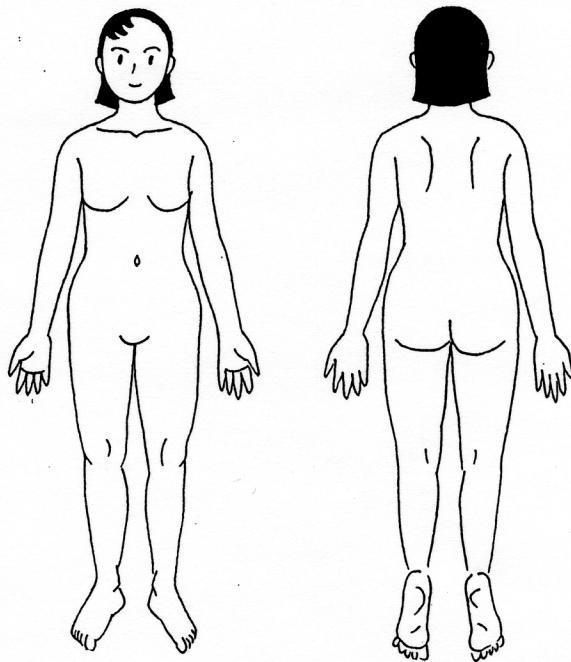
# 浮腫のアセスメントとケアプラン

日付	/
アセスメント①(浮腫の原因)	
①リンパ系の圧迫閉塞	
②静脈の圧迫閉塞 ③低蛋白	
④腎機能低下 ⑤心肺機能低下	
⑥局所の炎症 ⑦その他	
皮膚の状態	乾燥 湿潤
皮膚の炎症	有 無
白癬・感染症	有 無
皮膚の可動性	無 有
圧痕	有 無
リンパ漏	有 無
関節可動域の低下	有 無
シュテンマー徴候	陽性 陰性
使用薬剤	ステロイド・強心剤・利尿剤
浮腫に対する言動	
アセスメント②(ケアのポイント)	
①感染予防 ②苦痛緩和	
③現状維持 ④リンパ漏予防	
⑤ボディイメージの改善	
⑥ADLの向上	
⑦その他	

病歴番号	氏名	歳
病名	転移部位	
術式		
リンパ郭清	有・無	放射線照射 有・無

※ 手術痕・リンパ節転移部位・放射線照射部位  
観察した皮膚の状態について下図に記入する

リンパマッサージの場合は、施行前に肩回し(10回)  
腹式呼吸(3~5回)または腹部マッサージをおこなう



## (参考)浮腫のケア基準

○必要 △しても良い ×してはいけない

	スキンケア	リンパマッサージ以外の マッサージ	リンパマッサージ	圧迫療法	運動療法	ハドマー	
リンパ浮腫を含む 浮腫	感染症あり	○	△	×	×	×	
	リンパ漏あり	○	△	△リンパ漏部以外	△苦痛なければ	△苦痛なければ	×
	どちらもなし	○	△	○	△	苦痛なければ良かった方がよい	△60mmHg以下で行う
リンパ浮腫が起こる可能性が高い	した方がよい	△	△	×不要	○	×不要	
全身状態の悪化による浮腫	○	△	×効果なし	×不要	△苦痛なければ	△気持ち良ければ(高齢者は要注意)	
静脈血栓による浮腫	○	△血栓側要注意	×	×	×	×	
心不全による浮腫	○	△	×	×	×	×	

- ① スキンケア (保護剤 )
- ② リンパ漏のケア (手袋を装着しぬるま湯で洗浄後、硫パラプロペトを塗布してガーゼ保護)
- ③ リンパマッサージ以外のマッサージ (アロマ・指圧など)
- ④ リンパマッサージ (もみほぐし・ドレナージ)
- ⑤ 圧迫療法 (バンデージ・ストッキング)
- ⑥ 運動療法 (自動運動・他動運動)
- ⑦ ハドマー (右圧 ~ mmHg・左圧 ~ mmHg)
- ⑧ その他 ( )

※ ケア基準「浮腫」参照